

使徒信条

わたしは、天地の造り主、全能の父なる神を信じます。

わたしは、そのひとり子、わたしたちの主、イエス・キリストを信じます。主は聖霊によってやどり、処女マリアから生まれ、ポンテオ・ピラトのもとで苦しみをうけ、十字架につけられ、死んで葬られ、陰府にくだり、三日目に死者のうちから復活し、天に昇って、全能の父なる神の右に座しておられます。そこから来て、生きている者と死んでいる者とを審かれます。

わたしは、聖霊を信じます。聖なる公同教会、聖徒の交わり、罪の赦し、からだの復活、永遠のいのちを信じます。アーメン

主の祈り

天にまします我らの父よ、願わくは御名をあげさせたまえ。

御国をきたらせたまえ。

御心の天になるごとく、地にもなさせたまえ。

我らの日用の糧をきょうも与えたまえ。

我らに罪を犯す者を、我らが赦すごとく、

我らの罪をも赦したまえ。

我らを試みにあわせず、悪より救い出したまえ。

国とちからと栄とは、限りなく汝のものなればなり。アーメン

初めて礼拝に参加なさる方への御案内

- ・教会の礼拝は、信者だけのものではありません。どなたでも、いつでも参加できます。
- ・礼拝は、「見えない神と対面するとき」です。砕かれた自分を携えて礼拝に臨みましょう。
- ・礼拝では、イエス・キリストを証言する聖書を読み、その聖書を説き明かす説教が行なわれます。イエス・キリストの御言葉と生きる姿を通して、私たち自身の生きる道を尋ねましょう。
- ・礼拝では、讃美歌を歌い、祈ります。これらは神への信頼を表し、また神の恵みに応えて感謝を捧げるものです。
- ・礼拝では、自分自身をささげて神に従う献身のしるしとして、献金を捧げます。

今は、献身のしるしとして捧げる事は難しいと感じる方が、神への感謝のしるしとして捧げることもまた礼拝に相応しいことです。人の目や金額の大小を思わず、心のままにお捧げ下さることは、神と人にと仕えて生きる新しい歩みの第一歩となるはずです。



←礼拝ライブはフェイスブックから

週報はホームページにも掲載→



礼拝 毎日曜午前10:10より
日曜学校 毎日曜午前9:30より
祈り会 毎水曜午前10:30より
午後6:30より(今週は6:00より)
*キリスト教Q&A, 教会の歴史講座など随時
*牧師との面談を希望される方はご連絡下さい。



週報

2025. 1. 19

事実、人を聖なる者となさる方も、聖なる者とされる人たちも、すべて一つの源から出ているのです。それで、イエスは彼らを兄弟と呼ぶことを恥としないで、「わたしは、あなたの名をわたしの兄弟たちに知らせ、集会の中であなたを賛美します」と言い、また、「わたしは神に信頼します」と言い、更にまた、「ここに、わたしと、神がわたしに与えてくださった子らがいます」と言われます。

(ヘブライ2:11~13)

日本キリスト教会

札幌豊平教会

送金には、郵便局から振替口座のご利用を。振替：02790-7-9082
口座名義：日本キリスト教会札幌豊平教会

〒062-0906 札幌市豊平区豊平6条3丁目5-15

電話 090-8863-7316

新メール contactch@ccj-toyohira.church

新HP <https://ccj-toyohira.church>



2025年1月19日 No.3
降誕後第4主日礼拝

司式 長老大塚玲子

奏 楽

ハートマン純子

招きの言葉：イザヤ57：15

■高く、あがめられて、永遠にいまし、その名を聖と唱えられる方がこう言われる。わたしは、高く、聖なる所に住み打ち砕かれて、へりくだる霊の人と共にあり。へりくだる霊の人に命を得させ打ち砕かれた心の人に命を得させる。

讃美歌 21-4

悔い改め ローマ14：8

■私たちは、生きるかすれば主のために生き、死ぬかすれば主のために死ぬのです。従って、生きるにしても、死ぬにしても、私たちは主のものです。

讃美歌 21-26

聖書 ローマ5：1～2 (新p279)

祈り

讃美歌 21-58

説教 「神の御心への調和」 牧師稲生義裕

讃美歌 21-316

聖餐

讃美歌 21-411 (1-3節)

信仰告白 使徒信条(週報裏面)

献金

主の祈 (週報裏面)

頌栄 21-29

祝祷

アーメン三唱

後奏 (聴いた御言葉と派遣されて行く者としての理想を覚えて、各自黙禱を)

きょうの聖書

- 1 このように、わたしたちは信仰によって義とされたのだから、わたしたちの主イエス・キリストによって神との間に平和を得ており、
- 2 このキリストのお陰で、今の恵みに信仰によって導き入れられ、神の栄光にあずかる希望を誇りにしています。

—2024年2月4日総会にて決議—
≪2023年度主題≫『他者のために、地域と共に』
聖書 申命記6:4～5/使徒言行録2:43～47

礼拝後 高校生以上の集い 各団体例会
2024年度会計監査 臨時小会

今週の集い

- ・21日(火)10:00 手仕事グループ
14:00 とよひら食堂運営ミーティング(札幌バプテスト教会にて)
 - ・22日(水)10:00 ご近所との健康作り
10:30 祈り会 I /18:00 II (LINEでの参加可能)
 - ・23日(木) 9:30～/11:00～ガンバルーン体操教室
10:00～弁当の仕込み(10:30 移動スーパー駐車場に來訪)
 - ・24日(金)12:30 とよひら食堂弁当手渡し (12:00 札幌バプテスト・12:30 豊平教会・ディバイディにて手渡し、12:10 路上での手渡し)
 - ・25日(土)13:30 総会議事資料印刷・製本
- 牧師の予定 (上記以外)
- ・24日(木)北海道新聞取材(戦争責任告白について)

次主日の予告 (2025年1月26日)

礼拝 降誕後第5主日 (ライブ配信)

聖書 ローマ5：3～5 (新p279)

説教 「苦難をも誇りとし」

讃美歌 21-7, 28, 58, 505, 24

司式：長老武蔵学 奏楽：伊藤むつみ

礼拝後 高校生以上の集い 総会議事資料の発送
報告

- ・12日(日)礼拝出席30, 子ども0, 幼児0,
礼拝献金 ¥17,435 高校生以上の集い:11
- ・15日(水)祈り会 I：6、II：4
- ・17日(金)とよひら食堂 270(教会 97, 札バプ 105,
大通22, 薄野デイバイデイ 34, 配達3, ボラ12(9))。

お知らせ

- ・小会では本日2024年度会計監査を受け、その後、臨時小会を開き、2024年度決算案を作成。併せて2025年度活動計画・行事予定並びに予算案の作成を行います。今週末には議事資料の印刷を予定。大会より中会に委託された「創立75周年信仰の宣言」の検討を、引き続き行っています。
- ・昨秋より「戦争責任告白」について、北海道新聞の取材を受けてきましたが、27日朝刊に「戦争の正体を追う・戦時下の教会3」として当教会の戦争責任の取り組みが紹介されます。
- ・日本基督教団の信徒向け月刊雑誌『信徒の友』より、「とよひら食堂」に原稿依頼があり、2月16日頃発売の3月号に特集記事として掲載とのこと。
日々の着実な取り組みが、マスコミや他教派のメディアの目を引いている。私どもは、主の教会がこの地において生きるとは、どういうことなのかを問いつつ、主イエスの御言葉に基づいて、祈りと行動と思索を、そして悔い改めを静かに積み重ねていきたい。

* 沖縄辺野古新基地建設反対の「非暴力抵抗」運動に共感を表す募金を再開。次主日には締め切り、教会から送金。